



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 ショクブン

上場取引所 東名

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 朋春

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 宮原 利彦

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,317	0.0	2	97.2	14		81	74.3
2022年3月期第2四半期	3,318	1.6	80	36.0	73	5.8	46	20.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 79百万円 (102.0%) 2022年3月期第2四半期 39百万円 (13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	5.30	
2022年3月期第2四半期	3.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,882	2,512	42.7
2022年3月期	5,839	2,510	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,512百万円 2022年3月期 2,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		2.50			
2023年3月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,318	6.4	263	3.5	244	3.2	292	32.1	18.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	17,691,669 株	2022年3月期	17,691,669 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,253,522 株	2022年3月期	2,253,428 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	15,438,160 株	2022年3月期2Q	15,438,374 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大、資源価格や原材料価格の高騰など、円安の進行による物価の上昇等により、先行きは不透明な状況となっており、当社グループが属する食品宅配業界におきましても、相次ぐ値上げによる消費者の節約志向の高まりなどを背景に引き続き厳しい経営環境が予想されております。

このような状況の中、当社グループは、従来以上に社会のインフラとしての役割を果たすとともに、新たな取り組みを積極的に展開してまいりました。自社PB商品の販売を順次開始し、新たなPB商品の開発も進めております。11月には元天皇の料理番であったシェフ監修の「愛知みかわ牛のフルーツカレー」の販売を開始し、以降「愛知みかわ牛の欧風カレー」「懐かしのレトロカレー」の販売も開始する予定です。今後は、通常のメニューブックでの販売だけでなく、ECサイトを通じて全国の消費者の皆さまにもご利用頂ける仕組みの構築に注力してまいります。年末商戦においては、昨年末に入手困難であった人気商品を既に確保しており、また、東海地方の名産品を新たにラインナップに加えるなど、魅力ある商品の充実を図り、売上の増加につなげてまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力のメニュー商品売上高は31億90百万円(前年同四半期比101.0%)、特売商品売上高は、1億26百万円(前年同四半期比79.2%)となりました。

売上原価は、魚介類を中心とした原材料価格及び包装資材費の高騰、製造拠点における人件費及び水道高熱費の上昇等により原価率は61.4%と前年同四半期の59.7%に比べ1.6ポイントの大幅な増加となりました。原価率の増加は企業努力により吸収できる範囲に留まらず、9月中旬より、4月に続いて2回目の値上げを行っております。

販売費及び一般管理費は、関西地区及び静岡県でのTVコマーシャル放映等、広告宣伝費用が増加したこと等により、前年同四半期より25百万円増加し、12億78百万円となりました。

また、不動産の未使用部分の比率が大きく、従前より売却を検討していた山科営業所について、価格面や近隣に適切な移転先が見つかったことから売却いたしました。これにより、1億10百万円の固定資産売却益を特別利益に計上しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は33億17百万円(前年同四半期比100.0%)、営業利益は2百万円(前年同四半期比2.8%)、経常損失は14百万円(前年同四半期は73百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円(前年同四半期比174.3%)となりました。

当社としましては食を通じて引き続き社会のインフラに貢献すべく、魅力ある高付加価値商品の開発やBtoB取引の強化など新たな販路開拓による売上強化に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が1億24百万円増加した一方、山科営業所の土地と建物を売却したこと等に伴い有形固定資産が1億59百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ42百万円増加の58億82百万円になりました。

負債につきましては、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む。)が72百万円減少しましたが、リース債務が1億41百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ39百万円増加の33億69百万円になりました。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ2百万円増加の25億12百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、2022年9月30日に公表しました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,064,757	2,189,105
売掛金	89,160	121,556
原材料及び貯蔵品	95,643	114,790
その他	42,139	46,424
貸倒引当金	△55	△36
流動資産合計	2,291,646	2,471,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	470,477	450,912
土地	2,338,231	2,070,031
その他(純額)	283,878	411,792
有形固定資産合計	3,092,586	2,932,735
無形固定資産		
投資その他の資産	42,291	56,211
投資有価証券	7,504	7,504
退職給付に係る資産	314,379	322,226
繰延税金資産	1,196	1,039
その他	90,240	90,464
投資その他の資産合計	413,320	421,234
固定資産合計	3,548,198	3,410,182
資産合計	5,839,845	5,882,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,324	263,647
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	145,392	145,392
未払法人税等	9,011	10,673
賞与引当金	47,000	47,000
契約負債	9,960	7,300
その他	324,617	357,665
流動負債合計	2,084,306	2,081,679
固定負債		
長期借入金	956,552	883,856
資産除去債務	28,886	29,028
繰延税金負債	24,684	27,434
その他	234,952	347,320
固定負債合計	1,245,075	1,287,640
負債合計	3,329,381	3,369,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,230,181	3,230,181
利益剰余金	272,292	276,906
自己株式	△1,111,327	△1,111,347
株主資本合計	2,491,147	2,495,740
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	19,316	16,962
その他の包括利益累計額合計	19,316	16,962
純資産合計	2,510,463	2,512,703
負債純資産合計	5,839,845	5,882,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,318,331	3,317,194
売上原価	1,985,789	2,036,828
売上総利益	1,332,541	1,280,366
販売費及び一般管理費	1,252,398	1,278,136
営業利益	80,143	2,229
営業外収益		
受取利息	25	2
受取手数料	10,515	9,276
その他	902	2,607
営業外収益合計	11,444	11,885
営業外費用		
支払利息	9,934	9,078
支払手数料	8,203	18,355
その他	179	689
営業外費用合計	18,317	28,122
経常利益	73,269	△14,007
特別利益		
固定資産売却益	1,057	110,584
特別利益合計	1,057	110,584
税金等調整前四半期純利益	74,327	96,576
法人税、住民税及び事業税	10,735	10,674
法人税等調整額	16,674	4,147
法人税等合計	27,409	14,821
四半期純利益	46,917	81,755
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,917	81,755

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	46,917	81,755
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△7,610	△2,353
その他の包括利益合計	△7,610	△2,353
四半期包括利益	39,307	79,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,307	79,401

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。